

# 陽の里

発行 平成31年1月1日



社会福祉法人 新生会  
総合ケアセンター サンビレッジ  
〒503-2417 岐阜県揖斐郡池田町本郷1501番地  
TEL (0585) 45-5545 (代)  
URL <http://www.sun-village.jp/>

No.138

テーマ 認知症の方とともにある



▲昭和51年、開設時の石碑に刻まれている「私たちの使命」



社会福祉法人 新生会  
名譽理事長 石原美智子

新年あけまして  
おめでとうございます

お健やかに新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます  
今年も恙無く皆さんとともに新しい年を歩みだせることの幸  
せを感じています。私も30代からこの仕事に携わって今年は80  
代にはいります。その間、ずっと認知症の方々と共にあつたんだ  
なあ、と改めて感慨を深くしました。

30代のころも当時は痴呆という呼称でしたが、何だか痴呆の方々と仲良かつたことを想い出します。怒鳴られたことも、叩  
かれそうになつたことも色んなことがありました。現状が分か  
らなくなつても何とか生きていこうとしている方々が愛おしいと思  
いました。

サンビレッジ新生苑を開設以来、初代理事長が社会の人々に  
向けて宣言をした「私たちの使命」が示すごとく、全国でも  
早い時期から認知症の方のお世話をにも取り組んできて、職員と  
ともに認知症の方の理解と対応策を研究し、本にまとめました。  
今は、その改訂版に取り掛かっています。

この長い歩みの中で社会のあり方も大きく変化してきました  
が、私たちはご家族とともに、朴訥(ほくとく)に初代理事長が掲げた認  
知症の介護14か条(昭和56年12月機関紙8号に記載)を守っ  
て、これからも歩み続けてまいります。

# RUN伴+みずほ2018を終えて

もやいの家瑞穂チーフ

皆さま「RUN伴」という活動を聞かれたことはありますでしょうか?

RUN伴(ラントモ)とは、「認知症になつても安心して暮らせる地域づくり」を目指して、オレンジ色のお揃いのTシャツで、地域で暮らす認知症の方とともにタスキをつなぎ、地域を回るプロジェクトであり、RUN伴を通して認知症に対する理解・普及・啓発に繋げていくソーシャラクションです。

N.伴は行われていますが、RUN伴の姉妹イベントとして、瑞穂市でRUN伴+(PLUS)みずほ2018を今年度初めて開催しました。

厚生労働省が打ち出している、認知症施策推進総合戦略(以下、新オレンジプラン)は、認知症の人への意思が尊重され出来る限り住み

日本全国各地でRUN伴は行われていますが、RUN伴の姉妹イベントとして、瑞穂市でRUN伴+(PLUS)みずほ2018を今年度初めて開催しました。その名も、「みんなずっとほっこ隊」(以下、部隊)みずほの頭文字を取ったネーミングです。隊員は市内の介護保険事業所の介護・医療スタッフの方や、瑞穂市住民で構成しています。この部隊では、これまで多くの認知症

ボランティア等々、100人以上が集結し盛大なイベントとなりました。太鼓のボランティアによる迫力ある演奏に背中を押され、バルーンセレモニーのスタート合図で、ランナーはスタートしました。

当日、3コース200人以上のランナーが無事にゴール会場へ到着することができました。ゴールイベントでは、よさこい踊りで迎えられ、ランナーだけでなく、ランナーだけではなく、



初の取り組みであつたため、先駆的に開催してきた恵那市への視察から始まり、年度初めに実行委員会を立ち上げ、

恵那市のノウハウを活かしながら、概ね半年間の準備期間を経て開催に至りました。ランナーはもやいの家瑞穂を含め3事業所(3コース)からスタートし、ふれあいフェスティバル会場である、巣南庁舎を目指すこととしました。

実行委員会メンバーをはじめとし、行政、地域包括支援センター、協賛企業等々のお力添えをいたただいたおかげで、無事に開催するに至りました。今回、小さな一步だったかもしれませんのが、この活動が

今後も5年、10年と継続していく中で、認知症になつても安心して暮らせる街へと繋がっていかなければと思います。

葉に一同その場でスマートフォンを使い、インターネット検索したことときつかけでした。そして、「なんだか面白そう」と期待感を募らせました。

初の取り組みであつたため、先駆的に開催してきた恵那市への視察から始まり、年度初めに実行委員会を立ち上げ、

恵那市のノウハウを活かしながら、概ね半年間の準備期間を経て開催に至りました。ランナーはもやいの家瑞穂を含め3事業所(3コース)からスタートし、ふれあいフェスティバル会場である、巣南庁舎を目指すこととしました。

もやいの家瑞穂のスタートトイベント会場では、グループホームの家族交流会を同時開催し、ご利用者、家族、ランナー、地域の方々、

# 「しんせい語録」の読み解き

新生グループには日めくりカレンダー「しんせい語録」があります。

語録には介護現場で感じたことや学んだことへのヒントが掲載されています。

## もの言わぬ

### 心の声を感じたい

サンビレッジ大垣 松岡菜摘

私たち職員は、障害を有しても「その人らしい生活」が送れるよう、日々支援しています。出来ることはご自身でやっていただけ、出来にくくなつたことを援助するように心掛けています。

対人援助の基本となるのがコミュニケーションで、とても大切だと思っています。「おはようございます」、「ありがとうございます」…こうしたやり取りが無ければ、生活が殺伐としたものになるでしょう。多くの利用者は言語障害や認知症で意思表出が困難です。何を考えておられるか分からずから対応しなくても良いではなく、分からずとも笑顔で語りかけることを大切にしています。そして、コミュニケーション能力は一人ひとり異なり、相手の話を聞き表

みられる」「表情により感情の変化を感じる」等、利用者の心の声を感じ、把握、認識することも専門性だと思います。

サンビレッジ大垣のすぐ隣には堤防があります。春には桜、夏には紫陽花、秋には彼岸花、冬には水仙と季節を目で感じられます。外に散歩へ出掛けると利用者の表情がにこやかになり、心の声をより多く感じる事が出来ます。これからも、その心の声に耳を傾けながら、日々の生活に携わっていきたいと思います。



▲心の声をより多く感じるため  
コミュニケーションを深めています



vol.22

# いまでも、これからも 「サンビレッジの仲間たち」

リハビリセンター白鳥 棚橋 兼太郎

私は社会福祉法人新生会に入社して14年になります。祖母の介護を機に福祉の仕事に興味を持ち、他業種から未経験で転職しました。初めはデイサービスに配属されたものの、不安や戸惑い、失敗の連続で悩んでいたことを覚えています。

そんな折、転機になったのは当時の上司から「男の隠れ家」と題した、孤立しがちな男性利用者を対象にしたデイの企画を任せられたことででした。私も含めて男同士で気兼ねなく話をしたり、共通の趣味として木工作業を行っていく中で、世代や障がいを超えた繋がりが生まれたり、協力して作ったテーブルの他利用者への提供を通じて、要介護状態になり喪失していた「男としての誇り」や「役割を持つ喜び」を取り戻していく過程は私にとって衝撃であり、「もっとお年寄りの笑顔が見たい」と思うきっかけになつた、かけがえの無い体験となりました。

その後も様々な現場を経験し、多くの出会いと学びを経て、現在私は「リハビリセンター白鳥」で介護職兼施設ケアマネジャーとして働いています。リハビリという言葉の意味する「りり（再び）-ハビリスrehabilitate（適する）」を念頭に置き、障がいを持たれた方々の身体機能向上の訓練だけではなく、「まだ頑張れる」「生きていて良かった」という自信や喜びを持ちながら生活して頂けるように、そしてなにより私自身が、次代を担う新人職員や実習生達にとって「福祉の仕事は楽しそう」と感じてもらえる役割となるように努めています。



▲利用者の方々とリハビリ体操

# さんび校

陽の里健康祭りが開催されました。学生たちはイベントを企画し地域の方々をお迎えしました。



## みやじ

「ガマの油」鑑賞会を行ないました。迫力ある流暢な台詞回しには驚くばかり。あつという間の1時間でした。



## ほんぶ

### H30年度 永年続表彰

勤続5年～40年まで、76名の皆さんのが表彰されました。



## ひんせいえん

10月13日(土) 毎年恒例の池田町福祉運動会に参加。地域の皆さんと一緒にとても楽しそうに元気よく競技されていました。



## みずほ

「ほっこりカフェご縁」がサンビレッジ瑞穂の2階にオープンにしました。  
(セルフカフェご縁もぜひお越し下さい。)



# ひろとり

池田町白鳥地区いきいきサロンの健康体操に講師として招かれました。



## おおがき

大垣と津村の皆様と共に曾根町に芋ほりに行きました。大きなスコップでたくさんの芋をほることができ楽しく過ごすことができました。



## 岐阜 & 木育 共育ひろば

「岐阜シティ・タワー43」11周年記念イベントで健康料理試食会を開催しました。今後も食育&木育活動を企画します。皆さんの参加をお待ちしています。



## ほんぶ

東京サンタリーホールでコンサートを開いたコバケンさん（指揮者：小林研一郎さん）へ西日本豪雨災害の義援金をお渡しました。



## ほんぶ

### (H30年度事例報告会)

ソフトピア  
ジャパン  
にて開催。  
姉妹施設・  
学校からも  
多く方の参  
加!!

